

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
特別講演1	賀来 満夫	COVID-19総括 ～4年間の軌跡と感染対策の今後の課題～	○
特別講演2	中村 秀一	医療と介護の連携 ～COVID-19パンデミックから見てきたもの～	○
招請講演1	大住 カ	「一生の仕事が見つかるディズニーの教え」- 難病と患う子どもと家族から教えてもらった大切なこと-	○
招請講演2	和田 尚	チームとプレイヤー-エアラインパイロット訓練の新しい要素	○
会長講演	飯沼 由嗣	感染制御を学ぶということ	○
副会長講演	一木 薫	楽しくやろう感染対策～楽しみを模索した22年間～	○
理事長講演	四柳 宏	日本環境感染学会の歴史と展望	○
特別企画1 「大震災と感染制御」 (災害時感染対策検討委員会との合同企画)	高山 和郎	地震発生からのDICT活動クロノロジーとその活用	○
	川村 英樹	DICT活動の実際	○
	谷口 大樹	令和6年能登半島地震における感染症対策について(厚生労働省の立場から)	○
	山崎 雅英	被災地の病院の立場から	○
	野田 洋子	被災地における地域支援活動～DICTとの連携	○
特別企画2 「在宅・避難所における感染制御支援」	宮本 雄気	COVID-19の在宅・介護施設における急性期在宅医療提供と感染制御支援 - KISA2隊の立場から-	○
	長尾 美紀	COVID-19の在宅・介護施設における感染制御支援-行政、KISA2隊とのコラボレーション	○
	宮下 杏里	受援者の立場から見るボランティア支援	○
	鈴木 安奈	避難所および福祉施設等における感染制御支援-能登半島地震での対応、生活の場における感染制御支援と教育・啓発コンテンツの開発まで-	○
	石田 美穂	避難所および福祉施設等における感染制御支援-能登半島地震での対応、生活の場における感染制御支援と教育・啓発コンテンツの開発まで	○
	飯沼 由嗣	クロージング	○
緊急特別企画 「2024年度感染対策向上加算の改定と対応について」	谷口 大樹	抗微生物薬の適正使用に係る厚生労働省の取組について	○
	松永 展明	抗菌薬適正使用について ～J-SIPHE、診療所版J-SIPHE (OASCIS) も含めて～	○
緊急共催企画 「血液培養ボトル供給不足への対応」	伊藤 雄介	今だからこそ考えるこどもの血液培養の適正化	○
	河村 佳江	血液培養ボトル供給不足への対応～石川県における取り組み～	○
	山本 正樹	京大病院における血液培養ボトル供給制限時の対応状況	○
Meet the expert	矢野 邦夫	感染対策UP TO DATEセミナー--CDC最新ガイドラインも含めて-	○
教育講演1	豊留 有香	WHO手指衛生多角的戦略 ～WHO手指衛生自己評価フレームワークを用いた手指衛生の推進～	○
教育講演2	岩崎 博道	我が国におけるダニ媒介感染症診療の現状と課題	○
教育講演3	清祐 麻紀子	タイムコースで覚える微生物検査の活かし方	○
教育講演4	槇村 浩一	深在性真菌症を楽しく学ぶ (C. aurisの話題も含めて)	○
教育講演5	前田 健	ワンヘルスアプローチの実践と展望: 伴侶動物の感染症から	○
教育講演6	木下 輝美	感染管理のための行動経済学入門 NUDGE	○
教育講演7	佐々木 淳一	救急外来部門における感染対策	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
教育講演8	高山 かおる	手荒れの科学ー皮膚科医が教えますー	○
教育講演9	石黒 信久	RSウイルスとワクチン	○
教育講演10	堀 賢	感染症対策としての室内換気とWHOによる「病原体の空気を介した伝播」の考え方について	○
教育講演11	木下 大介	NICU入室児における感染リスク	○
教育講演12	大森 慶太郎	Virtual Reality (VR) を用いた感染症教育	○
教育講演13	西岡 みどり	手指衛生に関する“組織風土尺度”の開発と活用	○
教育講演14	土田 敏恵	研究で得られたデータを看護実践に活かす	×
教育講演15	牧上 久仁子	疥癬のアウトブレイクー特效薬が使える時代のピットフォールは何か？	○
教育講演16	仲上 豪二郎	バイオフィルムを制する者は創傷管理を制する	○
ベーシックレクチャー1	齋藤 篤	医療施設における滅菌物の保証	○
ベーシックレクチャー2	外館 善裕	医療施設における洗浄・滅菌の現状と今後への期待	○
ベーシックレクチャー3	郡 明宏	病院の空調管理を学ぼう	○
ベーシックレクチャー4	藤田 烈	医療関連感染サーベイランス	○
ベーシックレクチャー5	柴谷 涼子	CLABSIサーベイランス	○
ベーシックレクチャー6	縣 智香子	CAUTIサーベイランス	○
ベーシックレクチャー7	松永 展明	J-SIPHEおよび診療所版におけるICT、AST活動での活用法	○
ベーシックレクチャー8	都築 慎也	自習したい人のための統計解析基礎講座	○
ベーシックレクチャー9	和田 耕一郎	CAUTIを含む尿路性器感染症への対応	○
ベーシックレクチャー10	川村 英樹	SSIサーベイランスのイロハ	○
ベーシックレクチャー11	高橋 聡	STIの基礎知識	○
ベーシックレクチャー12	森 美菜子	高齢者介護施設での感染対策	○
ベーシックレクチャー13	高山 義浩	在宅ケアにおける感染対策の考え方	○
ベーシックレクチャー14	鈴木 匡弘	細菌のタイピング法の変遷と判定の注意点	○
ベーシックレクチャー15	岩崎 澄央	ICTが知っておきたい微生物検査のポイント～細菌培養と報告結果の活用～	○
ベーシックレクチャー16	山田 幸司	ASTに役立つ微生物検査について（薬剤感受性の解釈とピットフォール）	○
ベーシックレクチャー17	具 芳明	薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン2023-2027の概要	○
ベーシックレクチャー18	鈴木 克典	バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）対策の課題	○
ベーシックレクチャー19	矢幅 美鈴	結核の院内・施設内感染対策	○
ベーシックレクチャー20	小野寺 直人	消毒薬の適正使用：臨床現場で使えるエビデンスと実践方法	○
ベーシックレクチャー21	植田 貴史	抗菌薬入門	○
ベーシックレクチャー22	岡田 恵代	『手指消毒評価どーする？：使用量？払い出し量？直接観察？AIの利用も』	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
合同シンポジウム1 「今、改めて精神科病院の連携を考える～コロナ禍の経験を経て再認識した連携の重要性～」 (精神科における感染制御を考える会との合同企画)	高濱 正和	精神科病院の加算連携が困難となった今、改めて連携の構築を考える～堺ICNネットワークの取り組み～	○
	山田 学	精神科病院のICNとして考える連携の必要性と課題	○
	中島 燈子	一般科病院が精神科病院と連携している現状の課題と今後の方向性	○
	島野 武	加算連携が出来ない精神科病院の現状と地域における連携の期待	○
合同シンポジウム2 「次のパンデミックに向けた個人防護具最新事情」 (職業感染制御研究会との合同企画)	吉川 徹	新型コロナウイルス感染症パンデミックと個人防護具	○
	大石 貴幸	海外における個人防護具の適正使用事情	○
	飯島 直之	個人防護具の外部評価	○
	黒須 一見	コロナの個人防護具はどこまでするの？	○
合同シンポジウム3 「NICUでの抗菌薬適正使用～まだまだ改善できる！～」 (新生児感染症管理予防研究会との合同企画)	木下 大介	生後早期の極早産児に対する「複合的な抗菌薬適正使用プログラム」の普及効果に関する多施設共同前向き試験	○
	遠藤 美緒	J-SIPHEデータからみるNICUでの抗菌薬使用状況・耐性菌情報	○
	岡本 裕也	NICUでの血液培養報告体制	○
	美島 路恵	NICU看護師が担う抗菌薬適正使用	○
合同シンポジウム4 「手術室の感染対策を“見よう”」 (日本外科感染症学会との合同企画)	保富 宗城	耳鼻咽喉科・頭頸部再建外科における感染対策	×
	佐々木 香る	眼科における周術期抗菌薬予防投与	○
シンポジウム1 「感染制御におけるAI、自動化のインパクト」	園部 真也	自動化・AI が感染制御にもたらすもの	○
	鍼田 慎平	自動サーベイランスの実装の状況と課題	○
	太田 悦子	AIを活用したSSIサーベイランスの可能性と課題	○
	八木 哲也	「感染症マネジメント支援システム」を用いた遠隔コンサルテーションのインパクト	○
シンポジウム2 「抗酸菌診療の現状と展望」	上菘 義典	抗酸菌感染症の検査法：どこまで進歩したのか？	○
	高森 幹雄	潜在性結核感染症の管理 誰にどう治療する？	○
	千酌 浩樹	活動性結核の管理 隔離はいつまで必要か	○
	中村 忠之	N95マスクは再利用可能か	○
シンポジウム3 「診断支援 (diagnostic stewardship : DS) を抗菌薬適正使用支援 (antimicrobial stewardship : AS) にどう活かすか」	加地 大樹	検査技師の視点から (DS を AS につなげる)	○
	酒井 義朗	薬剤師の視点から (DSに求めること)	○
	森 美菜子	看護師に求められる診断支援 (DS) の実践	○
	笠原 敬	診断支援 (diagnostic stewardship) を抗菌薬適正使用支援 (antimicrobial stewardship) にどう活かすか～医師の視点から～	○
シンポジウム4 「薬剤耐性菌対策における「環境」について考える」	森 伸晃	カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌伝播事例における環境培養の実際	○
	繁本 憲文	環境管理の効果と限界	○
	中村 造	シンクについて考える	○
	鈴木 仁人	薬剤耐性菌のリザーバーとなる医療排水と配管内バイオフィーム	×

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
シンポジウム5 「エアロゾル感染の理解と対策を深掘りする」	加藤 英明	飛沫、空気感染とエアロゾル感染の違いを整理する	○
	坂本 史衣	微粒子を介した感染経路と感染対策を整理する	○
	吉田 理香	病院設備設計ガイドラインを理解し現場に適用する	○
	大石 貴幸	外来、クリニックにおけるエアロゾル対策	○
シンポジウム6 「手指衛生遵守率向上へのアプローチ～次のステップへ～」	石井 幸	手指衛生監査の精度管理 感染管理認定看護師とリンクナースの評価に関する事例紹介	○
	鈴木 幸雄	ナッジ理論をヒントに手指衛生改善アプローチを考える	○
	田村 祐子	「WHO手指衛生自己評価フレームワーク」を活用した取り組み	○
	内海 桃絵	VR（バーチャルリアリティ）やAIを用いた未来型手指衛生教育	○
シンポジウム7 「ワクチンの接種状況と課題 ～最近の知見を含めて～」	氏家 無限	髄膜炎菌ワクチンの現状と課題	○
	田中 健之	肺炎球菌ワクチンのアップデート	○
	遠藤 史郎	SARS-CoV-2ワクチン（XBB1.5ワクチンその後）	○
	宮入 烈	小児関連ワクチン：RSウイルス（成人向けだが）、ロタウイルス	○
シンポジウム8 「知っておきたい菌種別薬剤耐性菌の特徴とアウトブレイク対策」	加勢田 富士子	MRSA	○
	今 めぐみ	青森県立中央病院でのVREアウトブレイク終息までの1年半の対策、終息から現在までの対応	○
	中村 明子	アウトブレイク疑い時の微生物学的調査の現状と課題	○
	原田 壮平	薬剤耐性腸内細菌目細菌	○
シンポジウム9 「医療リアルワールドデータを用いた感染領域における研究について楽しく学び、議論しよう」	猪瀬 諒	ポリコナゾールの負荷投与に関する薬剤師の介入の評価：大規模保険請求情報を用いた検討	○
	荘司 智和	DPCデータと細菌検査データを使用したリアルワールドデータ研究	○
	合田 光寛	医療ビッグデータを用いた細菌感染症治療に関する解析	○
シンポジウム10 「小児感染症の流行状況・医療体制：現状・課題・展望」	庄司 健介	小児感染症の臨床 最近の話題	○
	神谷 元	Post COVID-19 パンデミックの小児感染症の疫学	○
	谷口 清州	小児感染症の医療体制の現状と課題、そして将来の展望	○
	美島 路恵	小児病棟における感染対策～呼吸器ウイルス感染症大流行時の対応～	○
シンポジウム11 「中小病院におけるAST、ICT活動を活性化させる方法を楽しもう」	外山 昌伸	常滑市民病院における感染対策業務の取り組み～薬剤師業務を中心に～	○
	沢田 佳祐	薬剤部や病棟のスタッフを巻き込んだAST薬剤師の取り組み	○
	井口 光孝	中・小規模施設の感染症診療における感染症専門医の介入効果	○
	荒井 啓暢	中小規模病院のAST、ICT活動における課題と遠隔コンサルテーションの効用 ～ICDの視点から～	○
シンポジウム12 「外科周術期感染管理活動の活性化に向けて」	尾原 秀明	外科周術期感染管理活動の重要性：総論	○
	宗方 幸二	創管理、グローブの「今」を理解する	○
	赤瀬 望	術中における感染管理状況とそのマネジメント	○
	保井 健太	周術期抗菌薬の適正使用を推進するために薬剤師ができることは何か？	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
シンポジウム13 「AMRアクションプラン2023-2027 への多方向からのアプローチ」	都築 慎也	疫学研究からのAMRアクションプランへのアプローチ	○
	浜田 幸宏	薬剤師の立場としてAMR対策アクションプランに対する多面的なアプローチ	○
	村田 佳輝	AMRアクションプランの推進 獣医師の立場から	○
	中浜 力	AMRアクションプラン2023-2027 クリニックの取り組み	○
シンポジウム14 「病院工学を学ぼう～感染対策の視点を踏まえた病院設計の効果と課題」	筧 淳夫	医療・介護施設の感染対策上のあるべき姿～工学的な見地から～	○
	加藤 洋光	感染対策と快適な医療環境を両立した建築デザイン	○
	堀 賢	感染症に強い建築とは？	○
	松島 由実	病院設計における感染対策の工夫と実際～看護管理と感染対策の見地から～	○
シンポジウム15 「院内感染対策に役立つ微生物検査の進歩」	渡 智久	迅速核酸検査による耐性菌の同定	○
	中村 竜也	質量分析による耐性菌の同定	○
	小佐井 康介	赤外分光法を用いた薬剤耐性菌のタイピング	○
	山口 哲央	施設内伝播の推定に全ゲノム解析を活用する	○
シンポジウム16 「内視鏡関連の感染対策を学ぼう！」	中村 純	消化器内視鏡診療における洗浄・消毒ガイドラインとその課題	○
	山村 幸江	耳鼻咽喉用内視鏡再生法の現状と問題点—— 2014年と2024年のアンケート結果比較	○
	千葉 美紀子	内視鏡培養検査の現状と課題	○
	高橋 陽一	CNICから見た内視鏡感染対策のポイント	○
シンポジウム17 「VREの脅威とその対策」	富田 治芳	VREの疫学と細菌学的な基礎知識	○
	早川 佳代子	VRE の臨床と治療	○
	山岸 拓也	VRE水平伝播防止のエビデンス	○
	柿内 聡志	離島で唯一の病院で起こったVREアウトブレイク～資源限定的な環境が対策に与える影響～	○
TOP PAPERS 「感染制御 Top Papers」	森兼 啓太	感染制御 Top Papers Part1	○
	本田 仁	感染制御 Top Papers Part2	○
パネルディスカッション1 「病院清掃受託企業の職員教育システム」	早川 冬悟	従業員教育の取り組み事例と今後の課題	○
	東山 奏	清掃業務受託企業の職員教育システム 根拠のある薬資機材を検討導入することによる清掃手順の画一化について	○
	丸山 貴美子	清掃業務受託企業にいるICNの立場から 一手指衛生・個人防護具着脱研修の取り組み	○
	塚田 真弓	病院にいるICNの立場から	○
パネルディスカッション2 「地域感染対策支援ネットワークのさらなる向上を目指して」	中澤 靖	東京都港区における地域の感染対策連携の現状と課題	○
	掛屋 弘	都市部の感染対策支援ネットワークの現状と課題 大阪から	○
	高橋 聡	地域感染対策支援ネットワークのさらなる向上を目指して	○
	鈴木 克典	北九州の地域感染対策支援ネットワークの現状と課題	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
パネルディスカッション3 「マスキング対策～新型コロナウイルスの学びから大阪・関西万博への備えを考える～」	三嶋 廣繁	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会から学ぶマスキング対策	○
	左近 直美	地方衛生研究所における下水サーベイランス	○
	朝野 和典	大阪・関西万博の概要	○
	福住 宗久	大阪・関西万博開催に向けての感染症リスク評価と最近の日本の輸入感染症の報告状況	○
パネルディスカッション4 「保健所と医療従事者の感染対策連携：コロナから耐性菌対策へ」	藤田 利枝	保健所長会としての医療機関との感染対策連携に関する課題	○
	豊田 誠	全国保健所長会協力事業「院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業班」の活動	○
	金井 信一郎	医療者側から見た保健所との感染対策連携の課題	×
	勝平 真司	保健所と医療機関の関係性 ～アウトブレイクの経験を通じて～	○
パネルディスカッション5 「抗菌薬適正使用における、特定看護師の活躍の可能性を探る」	鍋谷 佳子	特定看護師って何する人？～特定機能病院の看護管理者として特定看護師に望むこと～	○
	小野寺 隆記	特定看護師としてのAST活動のホンネ	○
	四宮 聡	AST活動におけるICNの有機的活動～特定看護師ではないAST専従者の立場から～	○
	片田 佳希	薬剤師の立場から期待すること、連携のありかた	○
パネルディスカッション6 「ICT活動の評価～感染率以外で評価できる？～」	田辺 正樹	ICT活動の評価 ～医師の立場から～	○
	美島 路恵	ICT活動におけるプロセス評価	○
	小野寺 直人	薬剤師の立場から	○
	渡 智久	臨床検査技師の立場から	○
パネルディスカッション7 「抗菌薬使用（AMU）における評価指標について楽しく学び、議論しよう」	村木 優一	抗菌薬使用（AMU）における評価指標の基本	○
	小泉 龍士	評価指標を用いてこれまで得られている日本のAMU	○
	村上 修太郎	DASCを中心とした新規AMU評価指標	○
	前田 真之	De-escalationの客観的かつ定量的な評価指標の確立にむけて	○
パネルディスカッション8 「AST活動に必要な知識や運用のコツを学ぼう」	倉井 華子	感染症診療の原則と抗菌薬の適正使用	○
	田代 将人	抗真菌薬の適正使用への介入	○
	山本 剛	抗菌薬の適正使用に導く微生物検査の活用方法	○
	松元 一明	特殊管理下における抗菌薬のTDM	○
パネルディスカッション9 「福祉施設における感染対策のcontroversy」	加藤 紘子	精神科病院におけるアウトブレイク事例の現状と感染管理の課題	○
	高山 直樹	重症心身障害児（者）施設における感染対策とQOL	○
	樽本 憲人	知的障害者施設の感染対策	○
	立山 雅子	高齢者施設やグループホーム、サービス付き高齢者住宅の感染対策で思うこと	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
パネルディスカッション10 「症例から知る微生物検査の活用法」	米谷 正太	「血液培養からGram陽性球菌が検出されました！」から始める微生物検査室にできること	○
	森下 奨太	薬剤耐性菌感染症における微生物検査	○
	仁木 誠	真菌症診療に貢献する微生物検査	○
	松尾 裕央	薬剤耐性菌感染症における微生物検査	○
パネルディスカッション11 「職種別の手指衛生改善アプローチ～私達も頑張っています！～」	多賀 允俊	「今」と「未来」の薬剤師の手指衛生遵守率向上のために	○
	濱田 涼太	リハビリテーション専門職が手指衛生で心掛けていること～見習いICT担当者が今後目指したいゴール～	○
	栗本 陽生	診療放射線技師の手指衛生改善アプローチ	○
	中澤 靖	医師の手指衛生向上の取り組み	○
パネルディスカッション12 「急性気道感染症に対する抗菌薬の適正使用について」	小泉 龍士	急性気道感染症への抗菌薬処方現状	○
	藤友 結実子	急性気道感染症における抗菌薬適正使用に関する教育啓発活動	○
	永田 理希	「あなたのその検査＆処方薬に根拠がありますか？」～抗菌薬処方Phase & Bestと説明処方箋0円～	○
	大山 かがり	薬局薬剤師にできることを考える	○
パネルディスカッション13 「病院機能の第三者認証制度を感染制御の視点から考える」	小林 治	病院機能評価受審施設の立場から	○
	長島 梧郎	病院機能評価審査側の立場から	○
	中川 雅貴	JCI受審施設の立場から	○
	坂本 史衣	JCI審査側の視点から	○
	野路 加奈子	ISO9001受審施設の立場から	○
	中元 伊知郎	ISO9001審査側の立場から	○
パネルディスカッション14 「レジリエントヘルスケア理論でICNの活動を緋く～しなやかな適応力を磨く～」	岡田 恵代	全部署対象のターゲットサーベイランスは無理難題か？レジリエンスで乗り越える現場を巻き込むサーベイランス	○
	濱野 飛鳥	現場とともに取り組む手指衛生	○
	橋本 丈代	コロナ禍に発生した薬剤耐性緑膿菌のアウトブレイク対応	○
	中島 和江	境界をこえた協働による医療チームのレジリエンスの発揮	○
パネルディスカッション15 「感染制御領域の人材育成」	井手 昇太郎	感染症専門医・感染制御医の育成	○
	植村 明美	地域におけるICNの育成 ～どないですか京都のとりくみ～	○
	清祐 麻紀子	ICMTの現状と育成の課題	○
	平原 康寿	感染制御認定薬剤師育成の課題	○
パネルディスカッション16 「次世代につなごう！ICNの組織コミットメント」	一木 薫	大学病院ICN22年目より次世代ICNへ伝えたいこと	○
	萩野 貴志	思考錯誤して歩んだ18年で学んだことを次世代ICNへ～感染対策をみんなのものに～	○
	野瀬 正樹	次世代ICNの苦悩と工夫～感染管理認定看護師の活動を通して受け継いでいること～	○
	奥川 麻美	感染症専門医が大勢いる中で得たCNICとしての原動力	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
パネルディスカッション17 「環境ラウンド、形骸化していませんか！～基本に立ちもどってステップアップ～」	金森 肇	環境ラウンド総論（その重要性和効果的なあり方等）	○
	酒井 義朗	チェックリスト作成のポイント ～場所・職種別の視点～	○
	細田 清美	環境ラウンドの実際	×
	太田 悦子	ラウンド結果の評価とフィードバック～柔軟に変化するICTラウンド～	○
ICD講習会 「新型コロナパンデミックから学ぶ感染対策」	-	-	×
委員会企画特別企画 「大震災とCOVID-19対策」 (COVID19対策委員会・災害時感染制御検討委員会との合同企画)	泉川 公一	大災害時の感染症対策・なぜCOVID19 が重要か	○
	古宮 伸洋	1次避難所（能登地方）におけるCOVID19対策	○
	小野 和代	1.5次・2次避難所におけるCOVID-19対策	○
	飯沼 由嗣	大震災に関連した医療ひっ迫とCOVID-19対応	○
委員会企画1 「改訂される医療関係者のためのワクチンガイドライン」 (ワクチン委員会)	金井 信一郎	B型肝炎ワクチン～実際の運用を踏まえた改訂～	○
	多屋 馨子	麻疹、風疹、おたふくかぜ、水痘ワクチン	○
	山岸 由佳	髄膜炎菌ワクチン	○
	中野 貴司	带状疱疹ワクチン	○
	岡田 賢司	百日せき含有ワクチン	○
	新庄 正宜	インフルエンザワクチン	○
委員会企画2 「サーベイランス集計結果報告および事例判定解説」 (JHAIS委員会)	清水 潤三	SSIサーベイランス報告	○
	藤田 烈	デバイスサーベイランス報告①：ICU・一般病棟部門	○
	坂木 晴世	デバイスサーベイランス報告②：NICU部門	○
	畑 啓昭	事例判定：SSI	○
	窪田 志穂	事例判定：CLABSI	○
	縣 智香子	事例判定：CAUTI	○
	佐々木 顕子	事例判定：VAE	○
委員会企画3 「教育委員会講習会：アウトブレイクは現場で起こっている！2024」（教育委員会）	-	-	○
委員会企画4 「C. difficile感染対策ガイド改訂に向けたポイント」 (C. difficile感染対策ガイドライン策定委員会)	吉澤 定子	Diagnostic stewardship (DS) を考える	○
	中村 敦	C. difficile感染症の重症度評価はできているのか	○
	一木 薫	ガイドラインは活用されているのか	○
	三嶋 廣繁	入院患者の隔離解除と最終清掃を考える	○
	山岸 由佳	小児におけるマネジメントを考える	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
委員会企画5 「医療環境の水に由来する感染症と対策」 (医療環境委員会)	中村 造	医療環境の水に由来する感染症 各論1 (細菌)	○
	関谷 紀貴	医療環境の水に由来する感染症 各論2 (NTM)	○
	山本 剛	病院環境における水質の検査と意義	○
	岩崎 英典	医療機関における結露対策	○
	四宮 聡	医療環境の水に由来する感染症と対策	○
委員会企画6 「NICUの感染対策をめぐるトピック」 (NICU感染対策検討委員会)	森岡 一朗	なぜNICUのMRSAは問題なのか？	○
	千葉 均	NICUにおけるMRSA対策の実際、当院の経験を踏まえた地域での取り組みと (1点だけ) 災害時の備えについて	○
	伊藤 美春	VAP サーベイランスのハードル：胸部レントゲンの評価	○
	相澤 悠太	NICU におけるウイルス感染症対策の実際	○
委員会企画7 「感染対策と医療疫学のこれから」(国際委員会 (SHEA) )	Erica Shonoy	The Future is Now : Harnessing Innovation and Technology for Infection Prevention and Control	○
委員会企画8 「APICとJSIPCのジョイントセッション」 (国際委員会 (APIC) )	Timothy Wiemke	Generative Artificial Intelligence for the Infection Preventionist 感染予防専門家のための生成AI	○
	白石 達也	発熱外来2.0を目指して	○
委員会企画9 「感染症発生に関するリスクコミュニケーションについて考える」 (リスクコミュニケーション委員会)	奈良 由美子	リスクコミュニケーション総論－「信頼」に焦点をすえて－	○
	倉井 大輔	大学病院で問題となりやすい麻疹患者対応 <事例から学ぶ>	○
	多屋 馨子	保育所での感染症発生に対するコミュニケーション	○
委員会企画10 「地方で考える輸入感染症への備え」 (マシガザリング関連感染症対策委員会)	椎木 創一	観光立県を目指す沖縄の輸入感染症対策：経験と課題	○
	北川 浩樹	広島大学病院における輸入感染症診療体制	○
	馬場 啓聡	宮城県における輸入感染症・インバウンド対策	○
	三河 貴裕	甲信越・山梨での輸入感染症・インバウンド対策	○
委員会企画11 「臨床研究推進委員会企画 教育講演」(臨床研究推進委員会)	國島 広之	感染制御におけるEnvironmental stewardship	○
委員会企画12 「職員教育－こんな時どうする？」 (地域セミナー委員会)	橋本 丈代	知識から実践へつなげる看護補助者の感染対策教育	○
	森 美菜子	意外と気づかない汚物処理のチェックポイント	○
	朝倉 智美	ICNがない病院・施設での教育のポイント	○
	小山田 玲子	言うことを聞いてくれない職員へのアプローチ	○
委員会企画13 「環境消毒評価について考える」 (消毒薬評価委員会)	北原 隆志	環境感染に使用する消毒薬評価に対しての学会の取り組み	○
	奥西 淳二	環境消毒評価について考える – 米国における評価基準 –	○
	梶浦 工	欧州における評価基準	○
	中川 博雄	臨床現場での環境消毒における現状と課題	○
	藤井 健吉	日本での環境消毒における課題口	○
委員会企画14 「質的研究論文を投稿しよう！」 (編集委員会)	青山 恵美	質的研究に至る着想と論文掲載まで	○
	操 華子	質的研究の特徴と査読のポイント	○

セッション名	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド 配信
委員会企画15 「楽しく学ぼう薬剤耐性菌対策」 (多剤耐性菌感染制御委員会)	嵯峨 知生	薬剤耐性菌の多様性 – 効果的な対策につなげるために –	○
	川村 英樹	薬剤耐性菌サーベイランスの基本	○
	浜田 幸宏	ASTの基本□	○
	菅野 みゆき	薬剤耐性菌のための接触予防策の基本	○
スポンサードシンポジウム	-	-	×
ランチョンセミナー	-	-	×
災害対応特別セミナー	-	-	×
スイーツセミナー	-	-	×